令和6（2024）年度国立環境研究所スーパーコンピュータシステム  
利用研究計画書

国立環境研究所　地球システム領域長　殿

国立環境研究所コンピュータシステム利用規程第５条第１項の規定に基づき、以下のとおり研究計画書を提出し、国立環境研究所スーパーコンピュータシステムの利用を申請します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

提出者（研究課題代表者）氏名：

所属：

--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

研究計画書作成においては、必要事項をA4版5-６ページ程度で記入して下さい。各記入欄は適宜拡張していただいて構いません。

1. **研究課題名（英語の場合は日本語課題名も併記ください）**
2. **研究の体制**
   1. **研究課題代表者名（所属・氏名）**
   2. **主たる参加研究者（所属・氏名・課題内での役割）**

複数機関にまたがる場合は各機関１名以上を記入してください

1. **継続課題であるか**

□ 無

□ 有（有の場合、前年度課題名）：

1. **関連する研究プロジェクト（外部資金または国立環境研所内の研究課題）**

* 無
* 有（有の場合、以下の内容についても記載下さい。複数可）
  + 制度名、研究課題名、研究期間、代表者所属・氏名
  + 上記プロジェクトにおいて本スパコン利用研究の計算資源を利用する必要性

計算資源利用が当該プロジェクトの研究計画内でどう位置づけられるかについて記載ください。申請者が国立環境研究所職員でない場合、国立環境研究所との共同研究体制、国立環境研究所の実施する研究との関連性・貢献などについても触れてください。

1. **研究の背景と目的**

継続課題の場合は、過去の研究進捗状況についても触れてください。

1. **研究計画**
   1. **長期的な視野に立った研究の計画**

関連プロジェクトや中長期計画等のスパンにて実施する研究計画の全体像について記載下さい。

* 1. **本研究課題における実施計画**

1. **資源利用**
   1. **計算資源（ベクトル処理用計算機SX-Aurora TSUBASA）**

並列数・計算時間・予定実行数等をもとに、積算根拠について具体的に記載下さい。

**総計　　　　　　　　　　[VE時間積]**

* + 1. 単位はVE時間積（利用VE数x hour）です。1VEには8 CPU搭載されています。
    2. 所外課題の場合、募集要項に記載の月あたり計算資源上限x12ヶ月が、利用できる資源の上限となります。所内課題の場合、が、月あたりの上限値はありませんが、以下の年間総資源量を目安に計画を立ててください。  
       256VE x 360日 x 24時間 = 約220万VE時間積（節電による縮退運転や予期せぬ障害での停止期間を除く）
  1. **ストレージ**

入出力ファイルサイズ、予定実行数等をもとに、積算根拠について具体的に記載下さい。

**総計　　　　　　　　　　[TB]**

* + 1. 単位はテラバイト（TB）です。
    2. 所内・所外課題のいずれも、期間内に利用可能な上限値が募集要項に記載されています。これを越えるストレージの要望がある場合は、理由を添えてご記載下さい。
  1. **その他**

システムを利用するにあたっての要望があれば、記載して下さい。ただし、必ずしもご希望に添えるとは限りませんので、ご理解をお願いします。  
例）利用したいライブラリとそのバージョン、ジョブ時間上限、最大並列数、同時投入可能数など

1. **主な研究業績**

本研究に関連して研究課題代表者及び主たる参加研究者が最近発表した成果のうち、主なものを最大10件の範囲内で記載して下さい。記載対象は査読付き論文、招待講演に限ります。著者名，タイトル，掲載誌，発表年月日等を記載し、該当する著者・発表者の名前には下線を引いて下さい。国立環境研スーパーコンピュータシステムを利用した業績については＊印を先頭に付して下さい。

1. **課題参加者**

参加研究者全員について記載してください。

スーパーコンピュータシステムを実際に利用する予定の者は、「スパコン利用」の欄に「○」印を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **氏　名** | **所属・役職** | **スパコン 利用** | **備考** |
| （課題代表者） |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |